ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市犢橋公民館改築土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1		調査位置	千葉市花見川区犢橋町162番地の1						北緯	35° 40’ 0.56”		
発注機関	千葉市（主管：都市局建築部営繕課）				調査期間	平成 26年 12月 20日 ～ 26年 12月 21日				東経	140° 6’ 48.91”		
調査業者名			主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者			
孔口標高	KBM −0.01m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	カノ KR-100	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	20.37m								エンジン	クボタ EA8	ポンプ	カノ V-6	

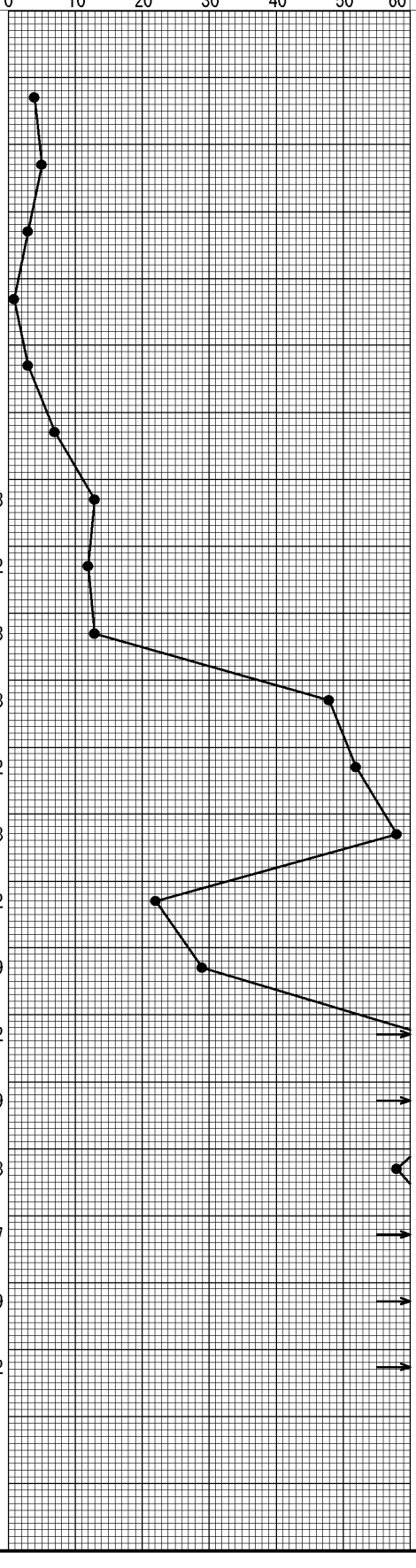
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.81	0.80	0.80		埋土、粘性土	暗褐～黄灰～黄茶褐			黒ぼく主体に地表部に砕石を混在し、0.20m付近にコンクリートを5cm程度介在する。0.25m以深ロームと凝灰質粘土の混合土主体となる。
1	-1.71	0.90	1.70		黒ぼく	黒褐			黒ぼく主体の旧表土である。 見かけの含水少ない。
2	-2.81	1.10	2.80		ローム	茶褐		らい中～柔か～位	多孔質なロームである。 見かけの含水少ない。 スコリアをごく少量混じる。
3 4	-4.71	1.90	4.70		粘土質ローム	黄茶～黄褐～乳褐		らい非にらい～常柔か～柔か	粘土化の著しいロームで、粘性強くなる。 4.00m付近に浮石をごく少量混じる。 見かけの含水やや多い。
5	-5.81	1.10	5.80		凝灰質粘土	乳黄灰		らい柔か	粘性非常に強い。 スコリアをごく少量混じる。
6	-6.71	0.90	6.70		砂質粘土	乳黄褐		中位	凝灰質粘土に砂分を多く不規則に混じる。 見かけの含水少ない。
7	-7.81	1.10	7.80		粘土混じり細砂	黄褐灰	中位		粘土分を一様に分布し、砂の粒径均一である。
8 9 10 11 12	-12.71	4.90	12.70		細砂	黄褐～黄灰	中位～非常に密な		砂の粒径均一である。 見かけの含水中位である。 11.00～12.00mにかけ非常に締まりの良い密な砂層である。 見かけの含水少ない。
13 14	-14.91	2.20	14.90		細砂	黄褐灰	中位		砂の粒径均一である。 雲母片をごく少量混じる。 見かけの含水少ない。
15 16 17 18 19 20	-20.38	5.47	20.37		細砂	暗黄褐	非常に密な		砂の粒径微細均一である。 雲母片をごく少量混じる。 見かけの含水少ない。 非常に締まりの良い密な砂層である。
21 22									

孔内水位(m)／測定月日：12/20 3.68 ▽ 無水掘削で確認するが、宙水である。

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	1/11	1/8	2/11	4/30
1.45 2.15	1/9	2/12	2/9	5/30
2.45 3.15	1/13	1	1/7	3/30
3.45 4.15	1/32			1/32
4.47 5.15	1/12	1	1/8	3/30
5.45 6.15	2/11	2/8	3/11	7/30
6.45 7.15	3	4	6	13/30
7.45 8.15	3	4	5	12/30
8.45 9.15	3	4	6	13/30
9.45 10.15	12	16	20	48/30
10.45 11.15	14	17	21	52/30
11.45 12.15	15	19	24	58/30
12.45 13.15	5	7	10	22/30
13.45 14.15	7	9	13	29/30
14.45 15.15	16	20	24/9	60/29
15.44 16.15	18	25	17/6	60/26
16.41 17.15	14	19	25	58/30
17.45 18.15	17	22	21/7	60/27
18.42 19.15	19	25	16/6	60/26
19.41 20.15	21	25	14/2	60/22
20.37				

N値



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）
1.15	1-1	㊀	土密 含水 粒度
1.45 2.15	1-2	㊀	土密 含水 粒度
2.45 4.15	1-3	㊀	土密 含水 粒度
4.47 6.15	1-4	㊀	土密 含水 粒度
6.45 9.15	1-5	㊀	土密 含水 粒度
9.45 13.15	1-6	㊀	土密 含水 粒度
13.45 17.15	1-7	㊀	土密 含水 粒度
17.45			

掘進月日：12/20 12/21

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市犢橋公民館改築土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.2	調査位置	千葉市花見川区犢橋町162番地の1			北緯	35° 40’ 0.56”
発注機関	千葉市（主管：都市局建築部営繕課）			調査期間	平成 26年 12月 21日 ～ 26年 12月 23日	東経	140° 6’ 48.91”
調査業者名		主任技師		現場代理人		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM± 0m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°
総掘進長	24.34m	使用機種		エンジン	クボタ EA8	ポンプ	カノ V-6
				試錐機	カノ KR-100	ハンマー落下用具	半自動落下装置

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.80	0.80	0.80		埋土、粘性土	暗褐灰～暗茶褐			地表部0.25m程度細砂主体に砕石を混在し、0.25m以深粘土混じりローム主体となる。
1	-1.70	0.90	1.70		黒ぼく	暗茶褐		柔らかい	黒ぼく主体で、見かけの含水少ない。
2	-2.70	1.00	2.70		ローム	茶褐		柔らかい	多孔質なロームである。 スコリアをごく少量混入し、見かけの含水少ない。
3					粘土質ローム	暗茶褐～黄茶褐		柔らかい	粘土化の著しいロームである。 見かけの含水中位である。 4.00m付近に浮石をごく少量混じる。
4	-4.70	2.00	4.70						
5					凝灰質粘土	乳黄灰			粘性非常に強い。
6	-6.15	1.45	6.15						
	-6.90	0.75	6.90		砂混じり粘土	黄灰～黄褐		硬い	凝灰質粘土に細砂を一様に多く混じる。 見かけの含水少ない。
7					粘土質細砂	黄灰	中位		粘土を一様に多く混じる。 砂の粒径均一である。 見かけの含水中位である。
8	-8.80	1.90	8.80						
9					細砂	黄褐～黄灰～暗黄褐～黄褐灰～暗	密な～非常に密な		砂の粒径均一である。
10									雲母片をごく少量混じる。 見かけの含水少ない。
11									非常に締まりの良い砂層である。
12									
13									13.00m付近に中砂をごく少量混じる。
14									砂の粒径微細均一となり、雲母片をごく少量混じる。
15									
16									
17									変化のない砂層である。
18									
19									19.00m付近に砂の粒径微細均一となる。
20									20.00m付近に中砂をごく少量混じる。
21									見かけの含水少ない。
	-21.80	13.00	21.80						
22	-22.75	0.95	22.75		貝殻混じり細砂	暗黄褐	非常に密な		貝殻破片（二枚貝）を多く混じり、見かけの含水少ない。
23					細砂	暗黄灰	非常に密な		中砂を多少混入し、砂の粒径やや不均一である。 非常に締まりの良い砂層である。
24	-24.34	1.59	24.34						
25									

孔内水位(m)／測定月日

12/21 4.28 ▽ 無水掘削で確認するが、宙水である。

12/23 12.80 ▽ 孔内洗浄水位

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1/13	1	1/7	3/30	3
1.45 2.15	1/12	1	1/8	3/30	3
2.45 3.15	1/14	1/11	1/9	3/34	3
3.49 4.15	1/20	1/14		2/34	2
4.49 5.15	1/11	1/8	2/11	4/30	4
5.45 6.15	2	3/12	3/8	8/30	8
6.45 7.15	4	5/11	5/9	14/30	14
7.45 8.15	4	5	7	16/30	16
8.45 9.15	10	13	17	40/30	40
9.45 10.15	10	14	19	43/30	43
10.45 11.15	14	17	22	53/30	53
11.45 12.15	15	21	24/9	60/29	62
12.44 13.15	8	10	14	32/30	32
13.45 14.15	10	14	17	41/30	41
14.45 15.15	14	18	26	58/30	58
15.45 16.15	14	20	26/9	60/29	62
16.44 17.15	10	12	16	38/30	38
17.45 18.15	8	10	15	33/30	33
18.45 19.15	14	17	23	54/30	54
19.45 20.15	15	19	23	57/30	57
20.45 21.15	17	24	19/4	60/24	75
21.39 22.15	24	26/9		50/19	79
22.34 23.15	25	35/9		60/19	95
23.34 24.15	27	33/8		60/18	100
24.33					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）
2.15	2-1	㊀	密度 含水 粒度
2.45			
3.15	2-2	㊀	密度 含水 粒度
3.49			
5.15	2-3	㊀	密度 含水 粒度
5.45			
7.15	2-4	㊀	密度 含水 粒度
7.45			
13.15	2-5	㊀	密度 含水 粒度
13.45			
18.15	2-6	㊀	密度 含水 粒度
18.45			
21.15	2-7	㊀	密度 含水 粒度
21.39			

掘進月日

12/21

12/22

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市犢橋公民館改築土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	千葉市花見川区犢橋町162番地の1			北緯	35° 40' 0.56"
発注機関	千葉市（主管：都市局建築部営繕課）			調査期間	平成 26年 12月 23日 ～ 26年 12月 23日	東経	140° 6' 48.91"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM±0m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	カノ KR-100	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	6.00m								エンジン	クボタ EA8	ポンプ	カノ V-6

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（）	掘進月日
	-0.80	0.80	0.80		埋土、粘性土	暗褐灰～黄茶褐																	
1	-1.70	0.90	1.70		黒ぼく	暗茶褐																	
2	-2.70	1.00	2.70		ローム	茶褐													1.90	3-1	Ⓓ	物理力学	
3					粘土質ローム	暗茶褐～黄茶褐													2.70				
4	-4.70	2.00	4.70																3.90	3-2	Ⓣ	物理力学	
5	-6.00	1.30	6.00		凝灰質粘土	乳黄灰											5.20	孔内水平載荷試験 Em=6864(kN/m²)	4.70				12/23
6																	5.80						
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
21																							
22																							